

とよやま

TOPICS

- 消防団 操法大会で8位……………4
- 25年度決算を認定……………2~3
- 10人が一般質問……………5~14
- 追跡! どうなったあの時のあの質問…… 15
- 友遊悠……………16

No.130
議会だより
 9月定例会

発行：愛知県豊山町議会
 平成26年11月1日

スーイ、スーイ うまくなったでしょ

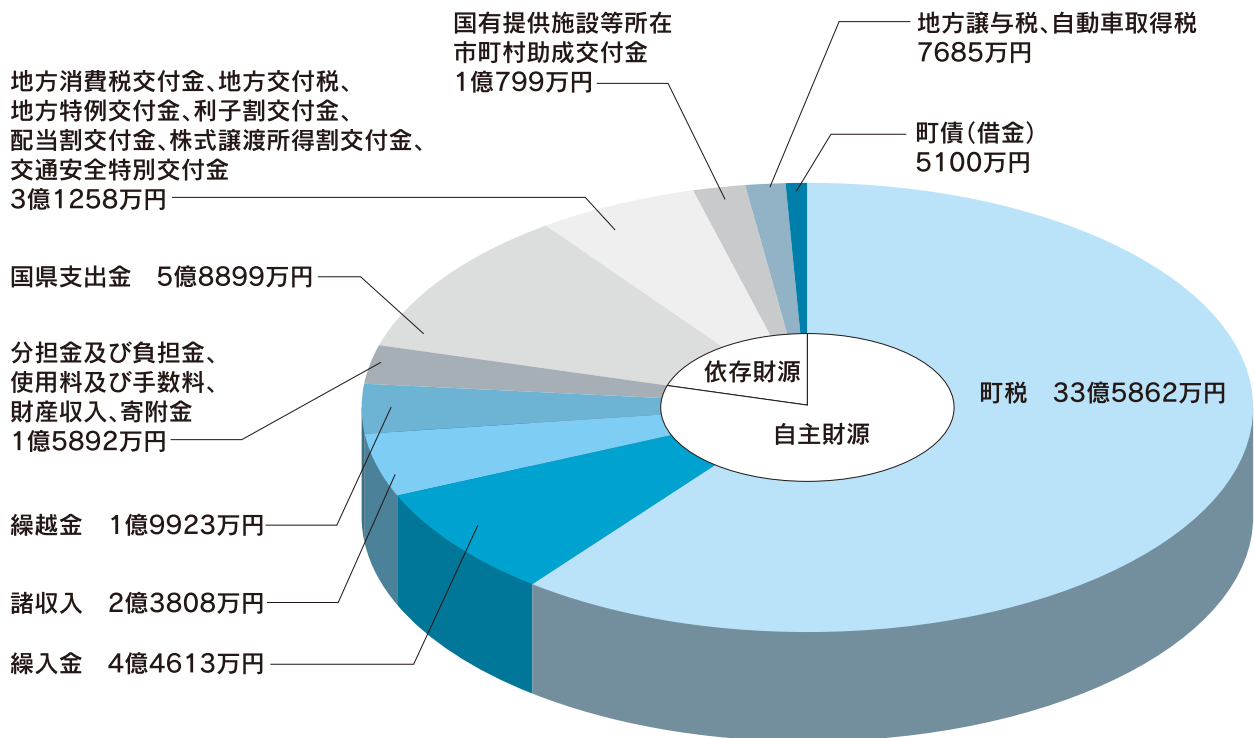


新栄小学校

25年度決算認定

財政に関する諸比率全て健全

歳入 55億3839万円



町民一人当たりの町税負担額 22万2千円 (26.4.1現在 15,113人)

収められていない町税等(未納額) (単位：万円)

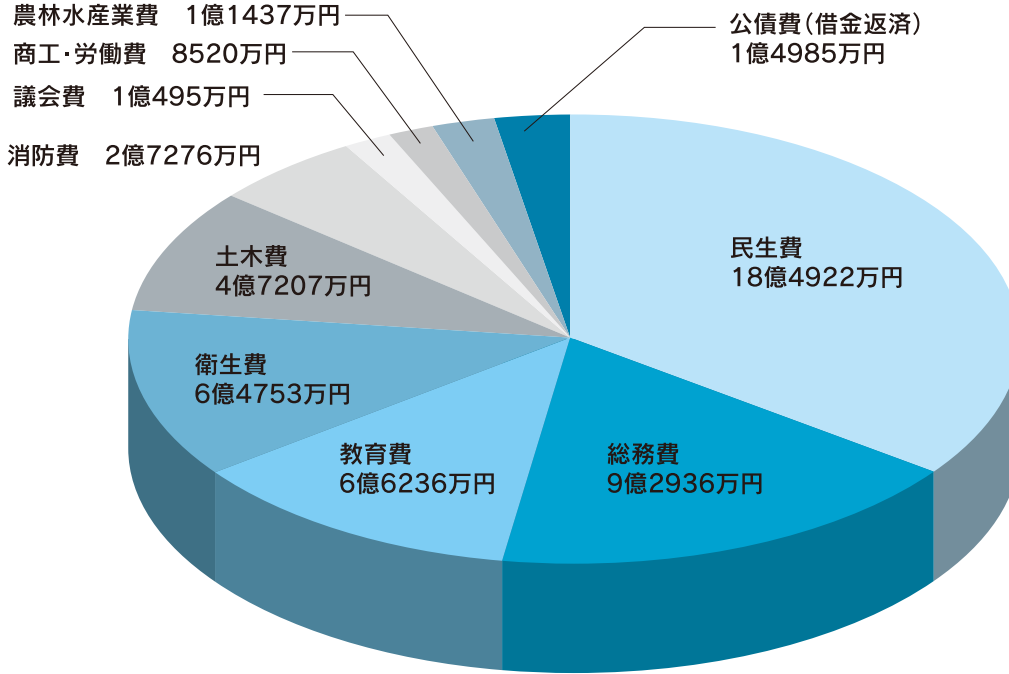
一般会計	町税	1億2502
	保育料	563
	学校給食費	716
国民健康保険税		1億7621
後期高齢者医療保険料		158
介護保険料		743
公共下水道使用料		57

特別会計・決算状況

(単位：万円)

会計別	歳入	歳出	差引
国民健康保険	16億4465	15億3981	1億484
後期高齢者医療	1億4324	1億4165	159
介護保険	7億9696	7億5902	3794
介護サービス事業	204	175	29
公共下水道事業	4億3504	4億2351	1153
合計	30億2193	28億6574	1億5619

歳出 52億8767万円



町民一人当たりについた経費 一般会計 34万9千円 (特別会計を含めると53万9千円)

皆さんの大切なお金で実施した主な事業

防犯灯LED化整備完了	772万円
タウンバスの運行	2692万円
交通安全施設整備	779万円
地域福祉センター(しいの木)改修	6397万円
健康診査・予防接種・母子保健事業	9595万円



その他の審議結果

教育委員の任命	全員賛成 同意	学習等供用施設の設置及び管理に関する	全員賛成 可決
固定資産評価審査委員会委員の選任	全員賛成 同意	条例の一部改正	
工事請負契約	全員賛成 同意	平成26年度一般会計補正予算(第4号)	全員賛成 可決
道路線の認定	全員賛成 可決	平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	全員賛成 可決
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例制定	全員賛成 可決	平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	全員賛成 可決
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定	全員賛成 可決	平成26年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	全員賛成 可決
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定	全員賛成 可決	平成26年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成 可決
母子家庭等医療費支給条例等の一部改正	全員賛成 可決	平成26年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成 可決

採択された意見書

- 「手話言語法」制定を求める意見書
- 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
- 国の私学助成の増額と拡充に関する意見書
- 愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書

豊山町消防団 操法大会で8位に

平成26年8月9日(土)、第59回愛知県消防操法大会が小牧市総合運動場で開催された。豊山町はポンプ車操法の部、出場19団体中、見事8位となった。1年間を通して夜の練習で、8位の成績は絶賛に値する。6人の団員と豊山町消防団のみなさまに敬意を表したい。

1. 出場団員

指揮者 ▶ 服部 正樹 1番員 ▶ 荒尾 竜也
 2番員 ▶ 森川 泰成 3番員 ▶ 佐々 聖尚
 4番員 ▶ 柴田 貴文 補助員 ▶ 渡邊 健一



2. 操法大会の見どころ3つ

①まっすぐ伸びるホース ②正確な放水 ③徹底した確認作業

以上を基本に、正確性+素早さ+結束力=合計得点で順位が決まった。



中学生のボランティアが活躍した 豊山町総合防災訓練

平成26年9月7日(日)豊山中学校で総合防災訓練があった。

当日は、各地区から多数の参加があった。参加者は避難所設置活動、応急救護活動、初期消火活動の3班に分かれ活動した。

特に、豊山中学校の生徒12人がボランティアとして参加、ボランティア支援本部で2名がボランティア支援活動、給食活動で10人が日赤奉仕団の指導の下、ハイゼックスによる炊き出しを行った。

災害時発生時、とりわけ、平日の昼間の大地震発生時には、中学生の若い力が、どうしても必要となる。そのためにも防災訓練等には、多くの中学生の参加を期待したい。



よりよい町政へ

Q・新教育委員会制度について

A・新制度に期待する



熊沢 直紀 議員

Q

① 本年6月、教育委員会制度を見直す地方教育行政法が、教育委員長と教育長を兼ねる新たな役職（教育長）を設けることに改正された。

「責任の所在が明確になる」「首長の関与の度合いが絶大となる」等の意見があるが、教育長の所見を問う。

② 最近では運動会を秋（9月～10月）よりも春（5月～6月）に開催する公立小中学校が、都市部を中心に増えている。教育長の所見を問う。

③ 文部科学省は教育課程内で行う土曜授業について、実践研究を行うことになった。当町の土曜授業の現状及び今後の対応について教育長の所見を問う。

A

④ 道徳の教科化が進行しているが、教育長が変わったので道徳の教科化について教育長の所見を問う。

① 責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化が柱であり、期待している。

② 学校が保護者とよく相談して実施するよう指導する。

③ 本町では、「ふれあいひろば」を開設してボランティアの方々を指導いただいております。土曜授業に勝るものと考えているため、実施する考えはない。

④ 学校教育活動全体で取り組むものであり、「教科化」には賛成である。



先生おはようございます

安藤 春一 議員

Q・経済的波及効果と防災 A・一層の関係強化に努める



Q

部品300万
点、経済的波及
効果大―MRJの特色
の一つ。宮城県東松島市、
長野県阿智村と災害時
応援協定を結ぶ。

経済と防災は住民が
最も注目し、同時に心配
している問題。前者は三
菱重工、後者は防衛省が
頼りである。

自衛隊の納涼祭りは
町幹部が不参加、さらに
とよまdeナイトへは
三菱側からの出席は無
かった。これは町の基本
姿勢が両者に対し、希薄
になっているように見
受けられる。一抹の不安
を感じるのは、私一人で
はない。

財政・公共施設・雇用
や町の活性化等、両者の
貢献度は高く大きい。こ
れまでの歴史、現状、将
来をシビアに考えて節
度ある良好な関係を保
ち、継続・発展できるこ
とが町益、つまり町民の
幸せに繋がる。そのた

めに、さらなる努力を
望む。

※MRJとは、三菱リ
ジヨナルジェット。
小型旅客機のこと。

A

三菱重工業株
式会社には、本

町の審議会や協議会の
委員を委嘱し、最近MR
Jに関連した交通等
の分野で協力関係を強
めている。三菱重工業の
とよまdeナイト参加
については、夏まつり実
行委員会から同社小牧
南工場長宛てに案内を
送り、従来出席いただ
いている。今年度は他の用
務が重なり欠席された
と推察する。

自衛隊には、防災会議
委員を委嘱し、町総合防
災訓練で協力を得てい
る。町として自衛官採用
募集事務で自衛隊に協
力するとともに、自衛隊
隊員OBを採用し連携
を強化している。自衛隊

の納涼夏祭りは、名古屋
市近隣市町村長懇談会と
重なり、祝電対応をした。
雇用、地域振興、防災
及び減災の観点から、
三菱重工業、自衛隊は、
本町の行政運営に欠か
せない存在であり、両者
との一層の関係強化に
努める。



MRJの生産拠点



Q・空港へのオフランプの進捗は

A・事業化に向け県へ働きかける

Q

41号線上の高
速から空港への
オフランプの計画は、
どうなったか。町の状況
は、大型店の進出、MR
J生産体勢、愛知県防災
拠点、その他空港整備と
事業が立て続け。中でも
一番住民への影響が懸念
されることは、交通問
題。愛知県と折衝を進め
ていたオフランプの問
題が、今となり非常に重
要。今からでも遅くな
い。

進捗状況と考えるは。

A

オフランプの
計画は、旧名古屋
空港を年間旅客数1千
万人超まで対応可能と
するため、平成6年2月
に都市計画決定された。
しかし、旧名古屋空港
になり空港需要は60万
人まで激減したため、計
画の進展がない。

今後、航空宇宙産業の
集積による交通対応、県
営名古屋空港の一層の

発展等、オフランプの役
割は重要であり、計画の
事業化に向け、県へ働き
かけていく。

※オフランプとは、自動
車専用道路の出口の
こと。

Q・高齢者等の足の確保を

A・新たな路線バスの 設置は考えていない

Q

町内の中心か
ら北部に関係す
る住民で、特に高齢者や
運転できない人が、西春
駅方面や済衆館病院へ
行くことが困難。以前の
答弁での、路線バスとタ
ウンバスとの競合問題
があれば、発想を変え
新路線はどうか。丁度、

A

豊山西春線の拡張整備
がされた。この線を利用
する路線バスか、タウン
バスを考えれば高齢者
等の要望に沿えるが。

とよやまタウンバスの
ンバスは、民間の
路線バスを代替・補完す
るためのバスである。町
北部の住民の方には、社
会教育センター等に乘
り換えゾーンを設けて
おり、済衆館病院や西春
駅にも利用していただ
ける。

とよやまタウンバスの
目的や運行に至った経
緯、名鉄バスの西春・空
港線への影響、済衆館病
院への移動ニーズなど
を踏まえ、新たなバス
路線の設置は考えてい
ない。



計画の推進が望まれる空港中央線

筒井 俊秋 議員

Q・久田良木川排水機場の排水能力は

A・想定外の大雨には対応できないことを住民に説明する



久田良木川排水機場

Q

平成11年供用
されてから、東
海豪雨を始め大雨が降
るたびにポンプが運転
されてきている。

ここ数年、全国各地で
局地的な豪雨(ゲリラ豪
雨)が頻発し、被災地は
甚大な被害を被ってい
る。
豊山町も何時ゲリラ
豪雨に見舞われるかわ
からない。ポンプの排水
能力は、毎秒10トンと言
われている。設置後10数

A

久田良木川流
域の治水対策は
計画策定から約40年が
経過し、久田良木川流域
では農地の宅地化が進
み、雨水の流出抑制機能
は著しく低下している。
その結果、河川への流入
時間は短くなり、流入量
も多くなっている。
現在の宅地化の進展
を踏まえ、解析を行う
と、現状の久田良木川の
治水能力は、10年に1度
の確率で発生する降雨

年が経過し、この間、久
田良木川、堂前川の排水
能力は宅地開発等によ
り、土地の形質が大きく
変更されている。
更には、東海豪雨以降
大山川の特定河川への
指定、降雨強度の見直し
が行われている。町の治
水対策はポンプを始め
どこまで進んでいるか。
また、今後の計画はど
うなっているか。

に対しては不足するも
のと考えられる。

対策は、早急に久田良
木川の排水ポンプ能力
を含めた全体計画の見
直しや、雨水貯留施設の
設置、そして市街地内の
雨水排水処理について
検討を進める。当面、排
水ポンプの必要量を把
握し、検討に入る予定。

今後、治水対策を進め
るため、「10年確率を超
える規模の雨やゲリラ
豪雨のような想定外の
大雨については対応で
きない」ということを住
民に説明し、個々人で備
える意識を持つてもら
う必要がある。

そのため、意識啓発や
ハザードマップの作成・
配布などソフト面の対
策への取り組みも必要
と考える。



Q・太陽光発電の推進を

A・屋根貸しについては、実施自治体と連携・情報交換を図る

Q

① 新栄小学校に設置した太陽光発電を、順次他の学校に設置の計画は。
② 学校のみならず他の公共施設にも設置しては。

③ 屋根貸しを始めてはどうか。愛知県始め名古屋市、岩倉市、春日井市等、いくつかの自治体で、太陽光発電の屋根貸しを始めている。

県では、
県有施設の屋根貸しをさらに増やすとのこと。本町でも始めてはどうか。

A

① 老朽化した校舎の改築を含めた検討が必要な

ため、現在設置の考えはない。

② 現在設置している装置が、低炭素社会の実現に向けた取組の一環であり、現時点で全ての公共施設を対象に設置する予定は無い。

③ 実施自治体との連携、情報交換を図りながら調査・研究を行いたい。



新栄小学校の太陽光発電

Q・弱者に寄り添う福祉行政を

A・福祉作業所への送迎・相談支援専門員の設置は考えていない

Q

① 豊山町の作業所でも、送迎の便宜を計るべきである。他市町の作業所は送迎がある。親の高齢化等の社会の変化に対応した施策が必要である。

② 相談支援専門員は、地元で置くべきである。町民がより暮らしやすくなるために、福祉課または社協に置くべき。

A

① 福祉作業所は、「自分で歩いて通所」、「付添があれば通所」、「介助があれば通所」の入所基準を満たした場合に作業所への入所を許可していることから、送迎を行うことは考えていない。

② 町が委託している相談支援事業所が、多岐にわたる障害分野でケースに応じた相談と、専門機関への連絡調整を受けもっていることから、相談支援専門員設置の考えはない。

岩村 みゆき 議員

Q・うつ・自殺予防の啓発に「こころの体温計」を

A・導入する考えはない



Q うつ・自殺予防の啓発はどのような方法で行っているか。

A 生活福祉部長
がん検診時に、啓発パンフレットを配布。

また、保健師による健康教室、臨床心理士による「心の健康相談」を実施した。

Q 若い男性の利用はあるのか。

A 生活福祉部長
24年度は0であった。それ以前もほとんどない。

ないことから、繰り返し啓発する効果は少ないと考える。

また、個人を特定できない点もあり今のところ導入する考えはない。

※「こころの体温計」とは、携帯電話やパソコンでストレス度や心の落ち込み度を簡単にチェックできるインターネット上のサービスのこと

Q 北名古屋市で導入されている「こころの体温計」を導入してはどうか。北名古屋市は、古屋市の担当者に、若い方への啓発に、とてもなつたと話していたが。



認知症サポーターになろう

Q 「こころの体温計」は、調査項目が常に更新されてい

A 生活福祉部長

「こころの体温計」は、調査項目が常に更新されてい

A 生活福祉部長

Q・これからの認知症対策は

A・認知症カフェを開設したい

Q 現在の認知症対策は。

A 生活福祉部長
65歳以上の要介護認定者以外の方へ、介護予防の必要性を判断する基本チェックリストを送付。そこで、認知機能の低下を発見することができる。

Q 早期発見の方策はどうか。

A 生活福祉部長
早期発見の方策はどうか。何か始めるべきではないか。

Q 認知症サポーター養成講座の受講者の人数と推移は。

A 生活福祉部長
24年度から、小中学校の福祉実践教室で実施し、750人以上の参加があった。18年度から25年度で累計2871人となった。

Q サポーターのフォローアップはどうしているか。

A 生活福祉部長
サポーターのフォローアップはどのようにしているか。

現在行っている「介護者の集い」を発展させ、家族や認知症サポーター等が集う場を「認知症カフェ」として開設したい。

A 生活福祉部長

厚労省が進めている「認知症カフェ」の設置は。

現在の実施事業や地域の方々の協力のもと、早期発見に努めているため、新たな方法は考えていない。

現在行っている「介護者の集い」を発展させ、家族や認知症サポーター等が集う場を「認知症カフェ」として開設したい。

現在行っている「介護者の集い」を発展させ、家族や認知症サポーター等が集う場を「認知症カフェ」として開設したい。

現在行っている「介護者の集い」を発展させ、家族や認知症サポーター等が集う場を「認知症カフェ」として開設したい。

現在行っている「介護者の集い」を発展させ、家族や認知症サポーター等が集う場を「認知症カフェ」として開設したい。

現在行っている「介護者の集い」を発展させ、家族や認知症サポーター等が集う場を「認知症カフェ」として開設したい。

現在行っている「介護者の集い」を発展させ、家族や認知症サポーター等が集う場を「認知症カフェ」として開設したい。



Q・どうするどうなる新介護保険事業

A・160万以上は自己負担2割・ 特養入所は要介護3以上

団塊世代の高齢化に備え介護保険事業が大きく変わる。町の取り組みを聞く。

Q 来年8月からの自己負担2割改定とは。

A 生活福祉部長

65歳以上の被保険者の内、合計所得金額160万以上(単身・年金収入のみは、280万以上)の方は、介護サービス自己負担は2割となる。影響は少ないと思う。

Q 特養への入所制限は。

A 生活福祉部長

特養入所は原則、要介護3以上。1・2でもやむを得ない理由のある人は特例で入所施設の入所判定委員会で決定。必要に応じて町も関与する。

Q 補足給付の改定は。

A 生活福祉部長

一定額の預貯金(単身

1千万・夫婦2千万超)等のある場合は対象外。自己申告である。虚偽の申告にはペナルティーがある。今後は遺族年金等も勘案される。

Q 新しい地域支援事業への取り組みは。

A 生活福祉部長

29年度末までに、訪問・通所介護を予防給付から町での支援事業としなければならぬ。現在各機関と検討中。特にマンパワーの掘り起こしを図る。

Q どうなる保険料。低所得者軽減は。

A 生活福祉部長

保険料は27年度には、6段階区分から、新9段階区分へと変更になる。軽減は、第1・2段階は0.5から0.3へ、第3段階は0.75から0.7になる。町は国の基準を参照して決定する。

今後の給付額増加に

対応するためには、第1号被保険者保険料は上げざるを得ない状況である。

介護基準額は、第6次

介護保険事業計画の中での地域支援事業費等を勘案しながら保険料の計算をする。



新事業のかなめとなる包括支援センター

水野 晃 議員

Q・自主防災組織のあり方は

A・地域の防災活動に協力していただく



Q 豊山町の自主防災組織設置推進要綱が平成21年4月1日に第2回目の告示がされたことにより、町主導で3小学校区自主防災会が設置された。

そこで、地区自主防災会の存在と機能性を確認する。

①地区自主防災会の位置づけは、小学校区自主防災会との関係・連携は。

②地区自主防災会を統合した場合交付金は増額されるか。

③防災倉庫設置補助金、公民館の防災資材補助金の現行制度は。

④東日本大震災以降、防災策基金の設置を行う自治体が増えているが、当町での創設の考えは。

⑤東松島市、清内路(阿智村)との災害時相互応援協定と自主防災会の応援体制は。

A ①本町の自主防災組織は、小学校区単位として位置付けている。

②地区自主防災組織の交付金増額は、組織の主体が小学校区自主防災組織であるため、考えていない。

③防災倉庫等の設置費補助は、愛知県から緊急市町村地震防災対策事業費補助金を受け、豊山小、志水小、新栄小学校に防災倉庫を設置した。地区公民館等の助成制度であるコミュニティ助成事業助成金は、防災資材に特化したものではない。

④防災対策基金は、地方税臨時特例法による財源を、町内消火器収納箱等の取替に充てた後、同基金創設も含め検討する。

⑤東松島市へ派遣した職員は、復興交付金及び農地整備の事務に従事する。自主防災組織は、本町の地域防災活動に協力いただくものであり、当該災害協定の対象ではない。

⑤東松島市へ派遣した職員は、復興交付金及び農地整備の事務に従事する。自主防災組

織は、本町の地域防災活動に協力いただくものであり、当該災害協定の対象ではない。



おいしくできるかな



パーティーションの組立体験



Q・神明公園にドッグランの設置を

A・設置は考えていない

Q 家族の一員である飼い犬が常に鎖につながれ、運動不足やストレス等により早く亡くなる犬もある。おもいつきり犬を遊ばせる施設を希望される住民の方も多い。適切な場所は、神明公園内ではないかということで、公園の大山川沿いに設置したらと考えるが、当局の考えを聞く。

A 神明公園では犬の同伴を禁止していないものの、「鎖でつなぐこと」「フンの後始末をすること」を注意看板で啓発している。しかし守られていないのが現状である。公園利用者が全て動物に対して寛容である訳ではない。身体的・生理的な理由から、拒否的な反応をする人も多い。したがって、神明公園へのドッグランの設置は考えていない。



ここにドッグランがあったらなあ

Q・豊山グラウンドの土埃対策は

A・利用時に適宜、散水をお願いする

Q 町民体育大会、夏祭り等イベント利用には、細かい土埃が大変厄介である。何か方策はないか。

A 豊山グラウンド内の野球の内野周辺は黒土舗装、その他は良質土舗装となっている。

土埃対策設備は、散水設備を整備し、グラウンドコンディションの維持管理に努めており、野球やサッカーなど利用者からは、良好であると評価を得ている。

土埃対策は、グラウンドの保湿状態を保つことにある。したがって、イベント利用時は、散水を適宜行うようお願いする。

尾野 康雄 議員



Q・堀之内交差点の改善を

A・信号サイクルの変更で渋滞は解消している

Q 町道3号線と
県道名古屋・豊
山・稲沢線の名古屋空港
の交差点の渋滞緩和策
の検討を。

A 堀之内交差点
の渋滞緩和策は、
信号サイクルの変更を
行い、一時的に渋滞する
ものの円滑に処理され
ていると考える。

県道名古屋豊山稲沢
線の4車線化は、現況道
路で、今後の交通量も十
分対応できるものと考
える。

Q 町道3号線と
県道名古屋・豊
山・稲沢線の名古屋空港
の交差点の渋滞緩和策
の検討を。

A アピタ方面から名古屋空
港交差点の南の交
差点を右折する時、ス
ムーズな車両通行でき
ないか。

以前よりは渋滞が解
消されたが、さらなる対
策を検討するよう。



堀之内交差点



心配な伊勢山交差点

Q 伊勢山交差点の信号機の整備を

A 県公安委員会に要望している

Q 伊勢山交差点
の信号機に、矢印
信号の設置を要望する。
時間帯によっては、ひど
い渋滞となる。更に、今
後ますますの混雑が予
想されると思うので、

名古屋北區から町と
接続する道路の二車線
化を要望する。

早急の対応として、
矢印信号の増設を要望
する。

A 伊勢山交差点
の矢印信号の設
置は、西枇杷島警察署か
らは、管内の最優先事項
として、愛知県公安委員
会に要望しているとの回
答を得ている。

追跡

あの時の あの質問

どうなった あの答弁

今回は、23年9月、24年9月の質問が、その後、どうなったかを追跡しました。

財源確保のため発想の転換を

単に歳出削減ばかりではなく、財源確保のため発想の転換をはかり、税外収入を考えてはどうか

答弁

新たな財源確保は重要

積極的に新たな財源を確保する取り組みは重要である。公共施設への自販機設置の競争入札を導入する

どうなった

ホームページにバナー広告

26年9月現在で、広告入り窓口封筒(23年4月より)、公共施設への自販機設置の競争入札(24年6月より)、ホームページのバナー広告(26年4月より)により税外収入を得ている

携帯緊急メールの普及状況は

平成24年5月から豊山町防災メールの運用が開始された。普及状況はどうか。もっとPRを

答弁

継続して周知に努める

登録された町民は158人である。広報、ホームページなど、今後も継続して周知に努める

どうなった

避難所開設情報も発信している

26年4月現在の登録者は、避難指示、避難所開設情報などの登録者は331人、東海地震予知、東海地震情報の登録者は327人、弾道ミサイル、航空攻撃情報の登録者は301人となっている



防災メールに登録を

本町では、避難所に関する情報などをメール配信しています。登録料は無料です。下のQRコードを読み取るか、メールアドレスに空メールを送信して、登録手続きをしてください。



▶ メールアドレス
t-toyoyama@
sg-m.jp
(QRコード)

老人クラブ連合会

元気にイキイキ！ 江崎 弘

全国老人クラブ連合会の運動目標は「健康」「奉仕」「友愛」の3本柱です。豊山町老人クラブでは、特に「奉仕」活動に力を入れており、今年も8月から9月にかけて、各地区会員により公園などの清掃活動を行いました。清掃活動は老人クラブ単独でなく、その地区の子ども会や自治会と一緒にいき、世代間交流を図っている地区もあります。

また、今秋から老人クラブ会員有志による児童下校時の見守り活動「安心クラブ」を立ち上げました。これは「可愛い児童を見守りたい(隊)」という思いから始める活動ですが、



活動が開始すると「私たちが児童から笑顔やパワーをもらう事になるのでは」と、心待ちにしているところです。このように、スタート間もないよちよち歩きですが、奉仕活動の幅を広げるにより、会員同志の支え合い、見守りにもつながっています。



見守り活動「安心クラブ」

手話サークル「豊友」

健康福祉フェスティバルに参加して 間瀬 雅子

健康福祉フェスティバルは、「豊友」の仲間が全員参加するイベントです。

前日、準備する仲間と当日参加する仲間が一致団結して盛り上げます。



私は、当日参加しました。イベントのタイトルは「もし私が耳が聞こえなかったら」です。

高齢者も小中学生も真剣に考えてくださってうれしかったです。

議会広報編集委員

- 委員長 ▶ 栗田 昌子
- 副委員長 ▶ 水野 晃
- 委員 ▶ 坪井 武成
- ▶ 安藤 春一
- ▶ 岩村みゆき

年賀状等のあいさつ状の禁止
議員は選挙区内の方に、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状・寒中見舞い等のあいさつ状を出すことを禁止されています。
ご理解をお願いします。

議会の傍聴に来てください
次回の定例会は、12月1日(月)午前9時30分開会予定
(一般質問は、12月8日(月)午前9時30分からの予定)
町のホームページから会議録がご覧いただけます。
www.town.toyoyama.lg.jp/